

令和6年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業 金抜設計書
排水路改修工事

当 初
—第一回変更—
—出来形—

都道府県名	長野県
地 区 名	三郷及木地区
所 在 地	安曇野市三郷
事業主体名	安曇野市

位置図

$S=1:25,000$



特記仕様書

工事名：令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業 三郷及木地区 排水路改修工事

箇所名：安曇野市 三郷明盛

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

2 工期関係

工期は、契約日から令和7年3月14日までとする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	30 日間
② 後片付け期間	20 日間
③ 雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数 実働日数×係数	0.7
④ その他の作業不能日	一日間

著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 残土・廃棄物関係

(1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

(2) 建設発生土

【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
新栄土木(株)	1,900 円/m ³	4.9km	松本市大字島内 6931-口 2-88

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
アスファルト塊	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³

コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	清水口建設 リサイクル センター	距離	5.1	km
			数 量	23	t		
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³
	二次 製品	再利用	処理工場名	清水口建設 リサイクル センター	距離	5.1	km
			数 量	20	t		
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・	m ³

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等					
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名		距離			km
		数 量		t	・	m ³	
汚 泥		処理工場名		距離			km
		数 量		t	・	m ³	
その他（金属クズ他）		処理工場名		距離			km
		数 量		t	・	m ³	

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（3）、（4）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うこと。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

(2) 個別事項

一 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。

二 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。

三 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。

(一) 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙ー5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。

選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

(二) (一) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。

(三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。

積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。

(四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。

(五) 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。

四 本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。

(一) 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。

(二) 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。

五 本工事は発注者指定（受注者希望）による電子納品の対象工事である。実施（の希望）にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙一2『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

(一) 成果品の作成にあたっては長野県『電子納品に係る実施要領』に基づくものとする。

(二) 受注者の事情等により、電子納品が困難である場合は、監督員との協議により紙納品とすることができる。

(三) 電子納品における書類の作成費用等は共通仮設費率に含まれている。

六 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。

(一) 利用にあたっては、長野県『情報共有システム実施要領』によるものとする。

(二) 利用するシステムは、『長野県情報共有システム機能仕様書』を満たすものから、受注者が選択し、事前に監督員の承認を得るものとする。

(三) 実施内容は以下の項目とし、受発注者間で確認し決定する。

- ・受発注者間の工事打合せ簿等の受け渡し（書類によっては、紙決裁で行う場合を認める）
- ・現場状況の共有
- ・確認・立会依頼
- ・その他 システムで利用可能な項目

(四) システムの利用料及び登録料は、共通仮設費率（技術管理費）に含まれている。

七 本工事は発注者指定型週休2日工事の対象工事である。「安曇野市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

(参考)「安曇野市週休2日工事実施要領」

八 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和6年4月1日適用版

資材単価決定調書

三郷及木地区 当初

[illegible]

数量計算書

土 工 計 算 調 書

当初・変更

レベル 4 (細別)	レベル 5 (規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
床 掘		土積計算書より	164.1	≒ 164	m 3	
基面整形	U-360B (295.9~342.9)	47.0[m] × 0.56[m2/m]=	26.32			
	U-600 (353.3~504.0)	150.7[m] × 0.80[m2/m]=	120.56			
計			146.88	≒ 147	m 2	
埋 戻		土積計算書より	98.5	≒ 99	m 3	
埋戻機械投入		土積計算書より	109.5	≒ 110	m 3	
法面整形	切土部	土積計算書より	19.5	≒ 20	m 2	
法面整形	盛土部	土積計算書より	90.7	≒ 91	m 2	
残土運搬	L=4.9km	土積計算書より	54.6	≒ 55	m 3	

当初・変更

[illegible]

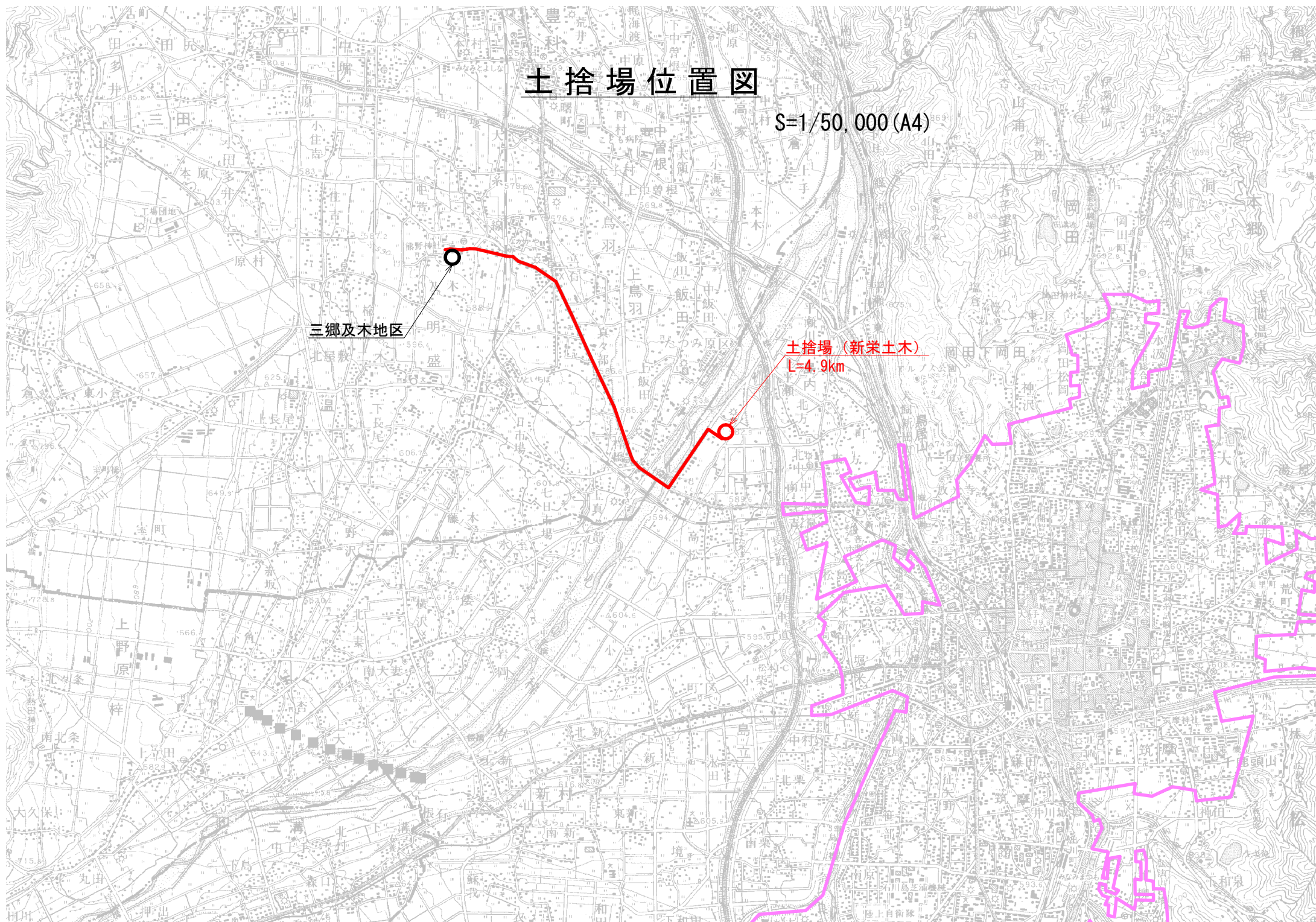
土 積 計 算 書

三郷及木地区

[illegible]

土捨場位置図

$S=1/50,000$ (A4)



水路本体工計算調書

当初・変更

レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
U-360B	295.9~342.9		47.0	≒ 47.0	m	
U-600	353.3~504.0		150.7	≒ 150.7	m	
田排水樹	1型		11	≒ 11	箇所	
CPP φ150		9[箇所] × 2.0[m/箇所]+2[箇所] × 3.0[m/箇所]=	24.0	≒ 24.0	m	
田排水接続工	U字溝用		5	≒ 5	箇所	
353.3~504.0	仮設供用日算定基礎	型枠 : 4箇所 × 0.2004m ² /箇所=0.80m ²				
353.3~504.0	仮設供用日算定基礎	生コン : 4箇所 × 0.0123m ³ /箇所=0.05m ³				
削孔代	φ200用		5	≒ 5	箇所	

既設構造物撤去工計算調書

当初・変更

レベル4（細別）	レベル5（規格）	算 式	数量	総量	単位	備考
取壊しコンクリート 殻等処理工	二次製品					
BF-250	295.9～342.9	$47.00[m]/2.00[m/本] \times 0.115[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	1.15			
BF-300	355.2～504.0	$148.80[m]/2.00[m/本] \times 0.146[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	4.62			
HPφ150	293.9～504.0(左 田排水)	$4.00[本] \times 0.077[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	0.13			
HPφ150	293.9～504.0(右 田排水)	$5.00[本] \times 0.077[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	0.16			
板柵（2段）	355.3～ 385.9(右)	$30.60[m]/1.80[m/スパン] \times 0.096[ton/スパン]/2.35[ton/m^3]=$	0.69			
板柵（1段）	385.9～ 393.1(右)	$7.20[m]/1.80[m/スパン] \times 0.051[ton/スパン]/2.35[ton/m^3]=$	0.09			
板柵（2段）	355.3～ 405.7(左)	$50.40[m]/1.80[m/スパン] \times 0.096[ton/スパン]/2.35[ton/m^3]=$	1.14			
畦畔ブロック	407.2～ 432.0(左)	$24.80[m]/0.50[m/枚] \times 0.033[ton/枚]/2.35[ton/m^3]=$	0.70			
計			8.68	≒ 8.7	m ³	
仮設供用日算定 基礎						
取壊しコンクリート 殻等処理工	353.3～504.0 の区間					
BF-300	355.2～504.0	$148.80[m]/2.00[m/本] \times 0.146[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	4.62			
HPφ150	353.3～504.0(左 右田排水)	$5.00[本] \times 0.077[ton/本]/2.35[ton/m^3]=$	0.16			
板柵（2段）	355.3～ 385.9(右)	$30.60[m]/1.80[m/スパン] \times 0.096[ton/スパン]/2.35[ton/m^3]=$	0.69			

既設構造物撤去工計算調書

当初・変更

レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
板柵 (1段)	385.9~ 393.1 (右)	$7.20[m]/1.80[m/\text{スパン}] \times 0.051[\text{ton}/\text{スパン}]/2.35[\text{ton}/\text{m}^3]=$	0.09			
板柵 (2段)	355.3~ 405.7 (左)	$50.40[m]/1.80[m/\text{スパン}] \times 0.096[\text{ton}/\text{スパン}]/2.35[\text{ton}/\text{m}^3]=$	1.14			
畦畔ブロック	407.2~ 432.0 (左)	$24.80[m]/0.50[m/\text{枚}] \times 0.033[\text{ton}/\text{枚}]/2.35[\text{ton}/\text{m}^3]=$	0.70			
計			7.40	≐ 7.4	m ³	
構造物取壊し (機械)	無筋構造物					
嵩上工	295.9~ 299.1 (左・右)	$3.20[m] \times 0.15[m] \times 0.41[m] \times 2=$	0.39	353.3~504.0仮設供用日算定 基礎		
コンクリート三面張	353.3~355.2	$1.90[m] \times (0.66[m] \times 0.605[m] - 0.40[m] \times 0.475[m])=$	0.40			
空洞ブロック (2段)	432.1~ 459.4 (左)	$27.30[m]/0.39[m/\text{個}] \times 2[\text{段}] \times 0.009[\text{m}^3/\text{個}]=$	1.26			9.29 ≐ 9.3
嵩上工	433.0~504.0 (右)	$71.00[m] \times 0.15[m] \times 0.44[m]=$	4.69			
嵩上工	459.4~504.0 (左)	$44.60[m] \times 0.15[m] \times 0.44[m]=$	2.94			
計			9.68	≐ 9.7	m ³	

当初・変更

[illegible]

S=1 : 1000

廃材処理施設位置図

S=1/50,000 (A4)

共和興業
L=km

共和興業

As切削	2,000 円/t
As掘削	2,000 円/t
Co無筋	2,200 円/t
Co有筋	2,500 円/t
二次製品	4,700 円/t
解体廃木材	— 円/t
樹木幹	— 円/t
樹木根	— 円/t

明科建材
L=km

明科建材

As切削	2,000 円/t
As掘削	2,000 円/t
Co無筋	2,200 円/t
Co有筋	2,500 円/t
二次製品	4,700 円/t
解体廃木材	— 円/t
樹木幹	— 円/t
樹木根	— 円/t

塚原石産興業 豊科工場
L=km

塚原石産興業 豊科工場

As切削	2,400 円/t
As掘削	3,400 円/t
Co無筋	3,400 円/t
Co有筋	4,400 円/t
二次製品	7,900 円/t
解体廃木材	— 円/t
樹木幹	— 円/t
樹木根	— 円/t

安曇野市（豊科）

※運搬距離が近く、処理費が安価な「清水口建設」を採用する。

三郷及木地区

共和興業 松本工場
L=5.2km

共和興業 松本工場

As切削	2,000 円/t
As掘削	2,000 円/t
Co無筋	2,200 円/t
Co有筋	2,500 円/t
二次製品	4,700 円/t
解体廃木材	— 円/t
樹木幹	— 円/t
樹木根	— 円/t

清水口建設 リサイクルセンター
L=5.1km

清水口建設

As切削	1,200 円/t
As掘削	1,500 円/t
Co無筋	1,500 円/t
Co有筋	2,000 円/t
二次製品	3,500 円/t
解体廃木材	25,000 円/t
樹木幹	25,000 円/t
樹木根	25,000 円/t

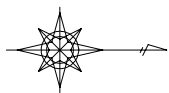
仮 設 工 計 算 調 書

当初・変更

レベル 4（細別）	レベル 5（規格）	算 式	数量	総量	単位	備考																																							
敷鋼板設置・撤去	504.0(左)	3.00[m] × 3.00[m]=	9.0	9	m 2																																								
		供用日数：40日																																											
運搬費																																													
敷鉄板運搬	L=8.0km	9.0[m2]/4.50[m2/枚] × 0.802[t/枚]=	1.60	1.60	t																																								
		<div>敷鉄板 規格寸法</div> <table><tr><th>品名 (mm×尺×尺)</th><th>寸法 (mm)</th><th>面積 (m²)</th><th>重量 (kg)</th><th>色</th></tr><tr><td>19×3× 6</td><td>19× 914×1,829</td><td>1.5</td><td>249</td><td rowspan="4">白</td></tr><tr><td>19×4× 8</td><td>19×1,219×2,438</td><td>3.0</td><td>443</td></tr><tr><td>19×5×10</td><td>19×1,524×3,048</td><td>4.5</td><td>693</td></tr><tr><td>19×5×20</td><td>19×1,524×6,096</td><td>9.0</td><td>1,386</td></tr><tr><td>22×3× 6</td><td>22× 914×1,829</td><td>1.5</td><td>289</td><td rowspan="4">青</td></tr><tr><td>22×4× 8</td><td>22×1,219×2,438</td><td>3.0</td><td>513</td></tr><tr><td>22×5×10</td><td>22×1,524×3,048</td><td>4.5</td><td>802</td></tr><tr><td>22×5×20</td><td>22×1,524×6,096</td><td>9.0</td><td>1,604</td></tr></table>	品名 (mm×尺×尺)	寸法 (mm)	面積 (m ²)	重量 (kg)	色	19×3× 6	19× 914×1,829	1.5	249	白	19×4× 8	19×1,219×2,438	3.0	443	19×5×10	19×1,524×3,048	4.5	693	19×5×20	19×1,524×6,096	9.0	1,386	22×3× 6	22× 914×1,829	1.5	289	青	22×4× 8	22×1,219×2,438	3.0	513	22×5×10	22×1,524×3,048	4.5	802	22×5×20	22×1,524×6,096	9.0	1,604				
品名 (mm×尺×尺)	寸法 (mm)		面積 (m ²)	重量 (kg)	色																																								
19×3× 6	19× 914×1,829		1.5	249	白																																								
19×4× 8	19×1,219×2,438		3.0	443																																									
19×5×10	19×1,524×3,048		4.5	693																																									
19×5×20	19×1,524×6,096		9.0	1,386																																									
22×3× 6	22× 914×1,829		1.5	289	青																																								
22×4× 8	22×1,219×2,438		3.0	513																																									
22×5×10	22×1,524×3,048		4.5	802																																									
22×5×20	22×1,524×6,096		9.0	1,604																																									
耕地復旧（表土掘削・埋戻）	278.4～342.9(左)	68.0[m] × 3.0[m]=	204.00																																										
表土厚 20cm	353.3～504.0(左)	184.0[m] × 3.0[m]=	552.00																																										
計			756.00	756	m 2																																								

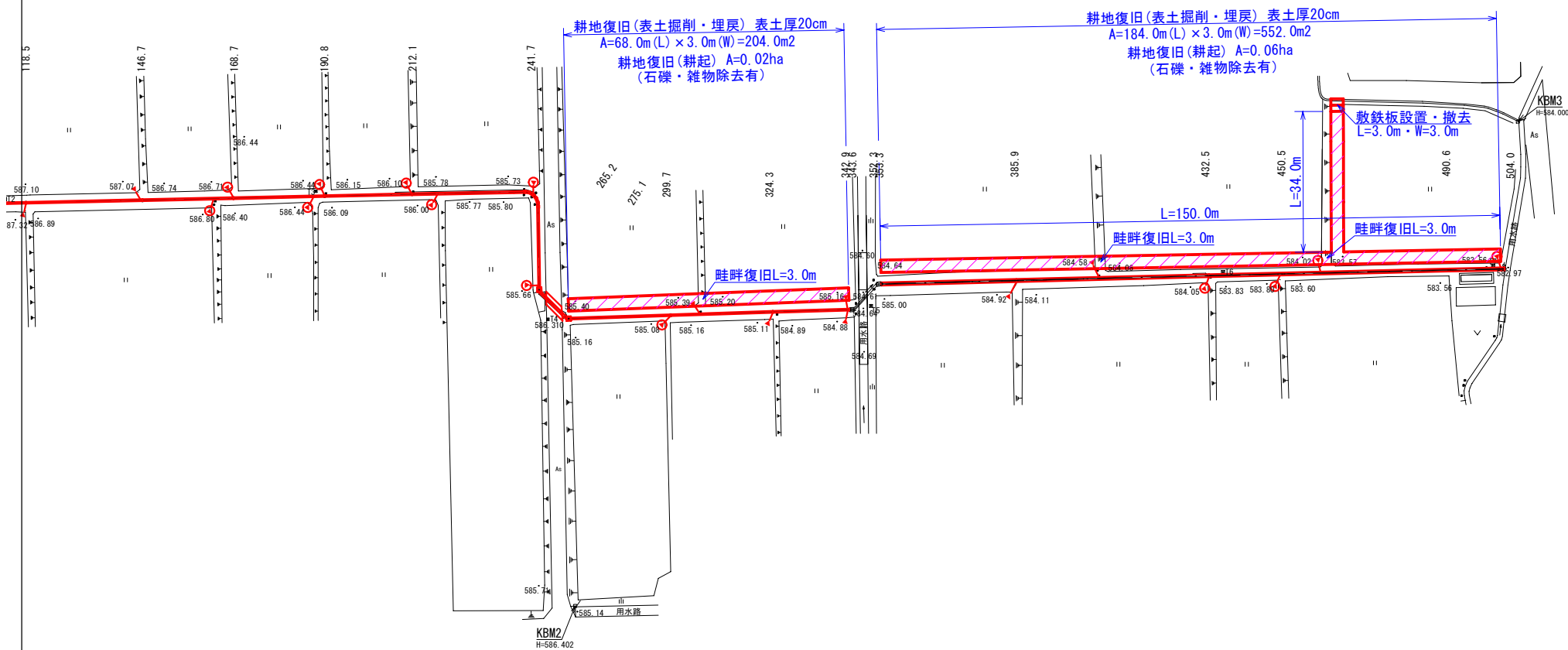
当初・変更

[illegible]



仮 設 図

S=1:1000



敷鉄板供用日数算定調書（353.3～504.0区間の作業）

三郷及木 地区

作業項目	作業機種等	作業能力	施工量	鉄板使用日数		備考
準備工				0.1 日		仮設材搬入設置R6積算基準P439 1.5/1000×9≒0.1日
水路土工						
床掘	土砂、平均施工幅1～2m	150.00 m3/日	136	0.9 日		R6積算基準 P989
基面整正		50.00 m2/日	121	2.4 日		R6積算基準 P990
埋戻(人力)	粘性土・礫質土	11.80 m3/日	84	7.1 日		R6積算基準 P42
積込(ルーズ)	土砂	160.00 m3/日	94	0.6 日		R6積算基準 P988
法面整形	切土部	140.00 m2/日	10	0.1 日		R6積算基準 P990
法面整形	盛土部	220.00 m2/日	67	0.3 日		R6積算基準 P990
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	42.00 m3/日	42	1.0 日		R6積算基準 P984
水路本体工						
U型溝据付工(L=1000)	2.0m当たり1000kg以下	43.00 m/日	150.7	3.5 日		土木施工単価2024春 P415
田排水柵設置	1型	250.00 箇所/日	6	0.1 日		R6積算基準 P1003
田排水管設置	CPPφ150	200.00 m/日	14.0	0.1 日		ヘルプS3121
型枠工	小型構造物	15.00 m2/日	0.8	0.1 日		R6積算基準 P1003 田排水接続工
コンクリート工	小型構造物	5.00 m3/日	0.05	0.1 日		R6積算基準 P1002 田排水接続工
養生	混合セメントB種	5.00 日/式	1	5.0 日		コンクリート標準示方書 P167
削孔代		箇所/日	4	0.5 日		
構造物撤去工						
取壊しコンクリート殻処理工	二次製品	25.00 m3/日	7.4	0.3 日		ヘルプS3976
構造物取壊し	無筋構造物	19.00 m3/日	9.3	0.5 日		土木施工単価2024春 P471
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	33.00 m3/日	7.4	0.2 日		R6積算基準 P993
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし	40.00 m3/日	9.3	0.2 日		R6積算基準 P992
撤去工				0.1 日		仮設材撤去搬出R6積算基準P439 1.4/1000×9≒0.1日
計						
計				23.2 日		

敷鉄板供用日数

上記敷鉄板使用日数を1.7倍(雨休率0.7)し雨天、休日を加味総供用日数とする。

総供用日数を設置予定箇所数(1箇所)で除す。

$$(23.2 \times 1.7) \div 1 = 39.4 \text{ 日} \approx 40 \text{ 日}$$

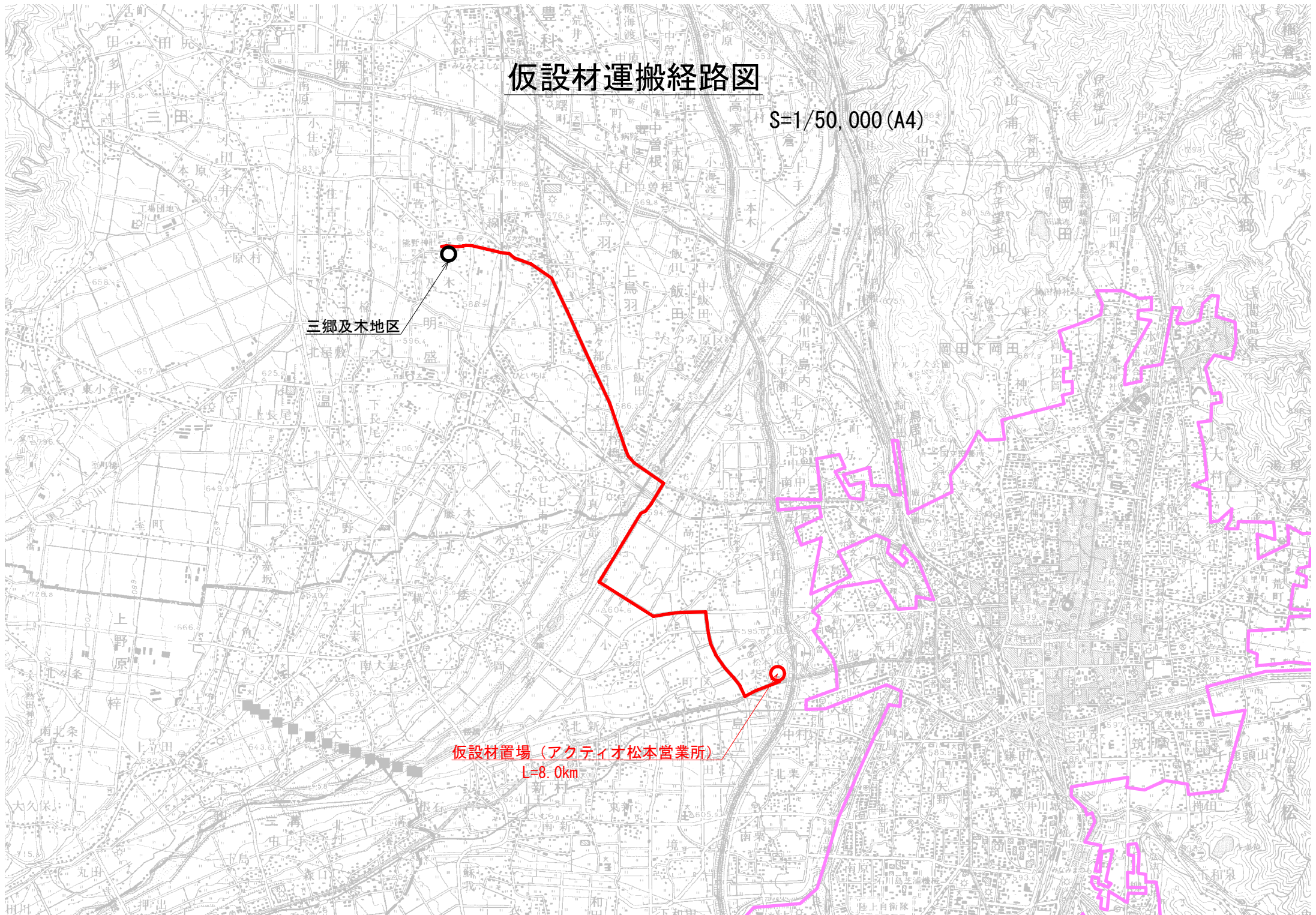
仮設材運搬経路図

S=1/50,000 (A4)

三郷及木地区

仮設材置場 (アクティオ松本営業所)

L=8.0km



単 価 表 計 算 書

グループ単価表

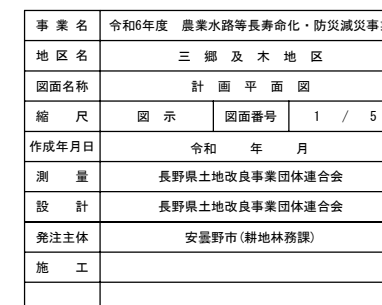
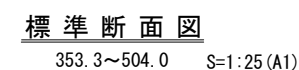
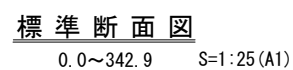
[illegible]

グループ単価表

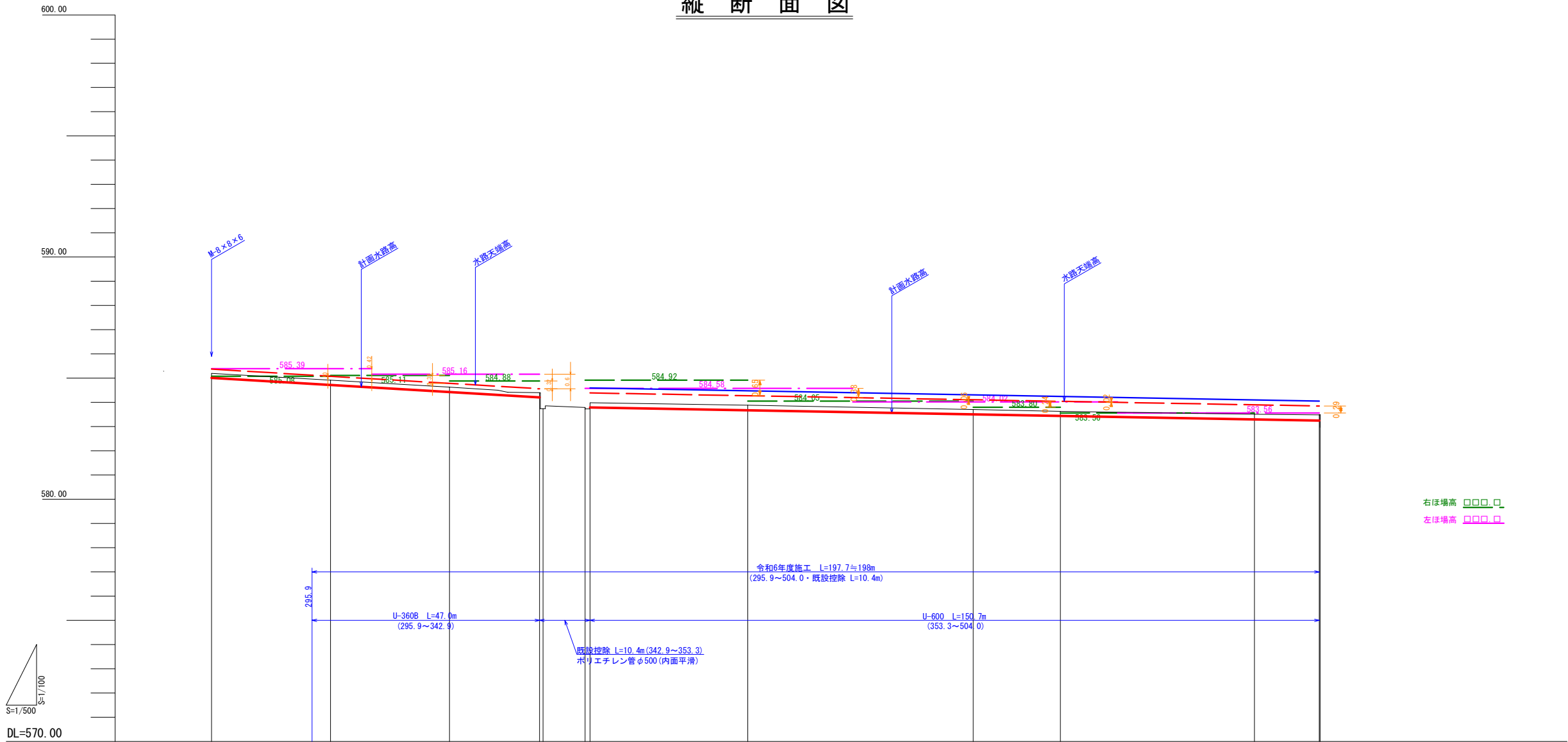
[illegible]

グループ単価表

レベル4（細別）	レベル5（規格）	算 式	数量	総量	単位	備考
G0976		取 壊 し コ ン ク リ ー ト 殻 処 理 エ ニ 次 製 品	10m3 当り			
積 込	ルーズ		10.00	≡ 10.00	m3	
普通作業員			0.40	≡ 0.40	人	



縦断面図

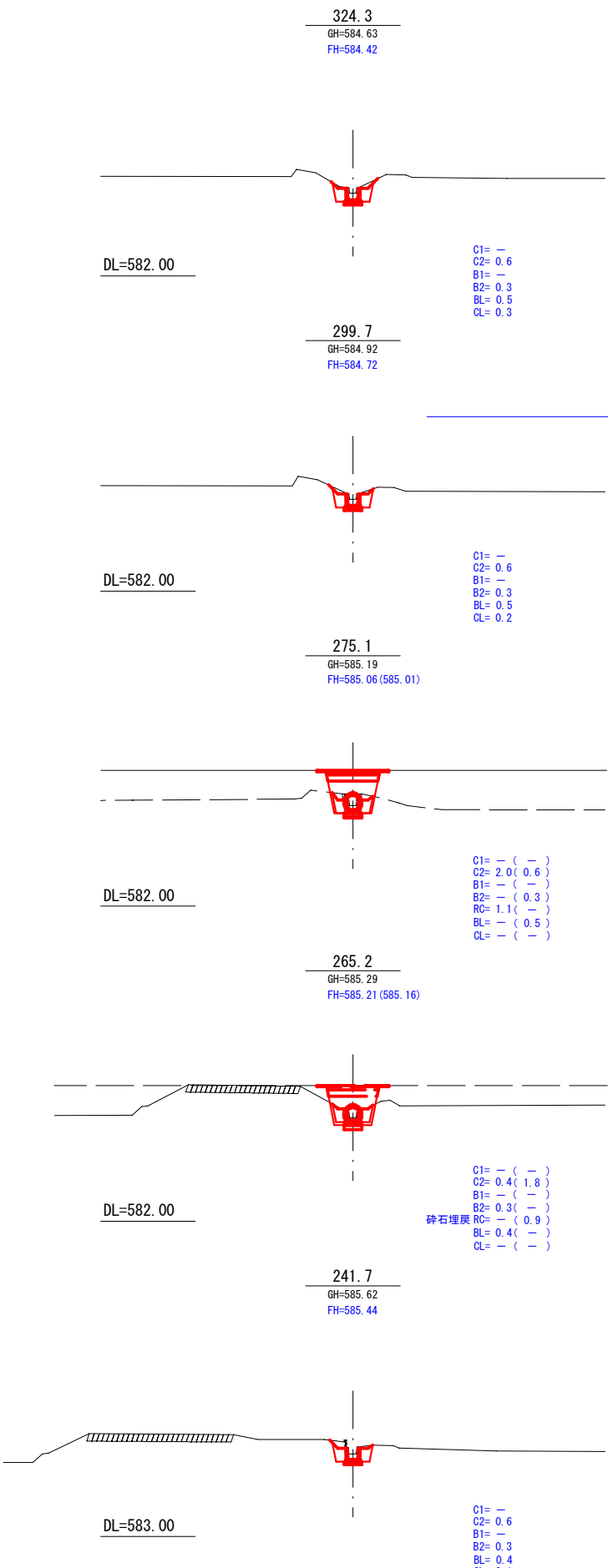
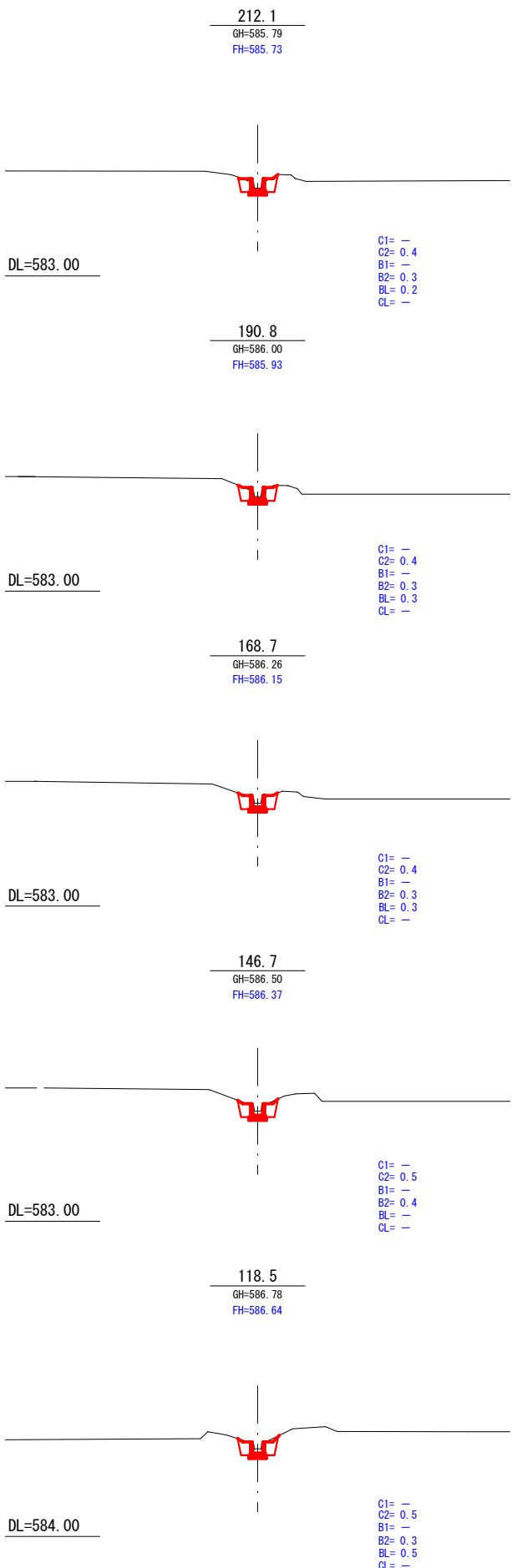
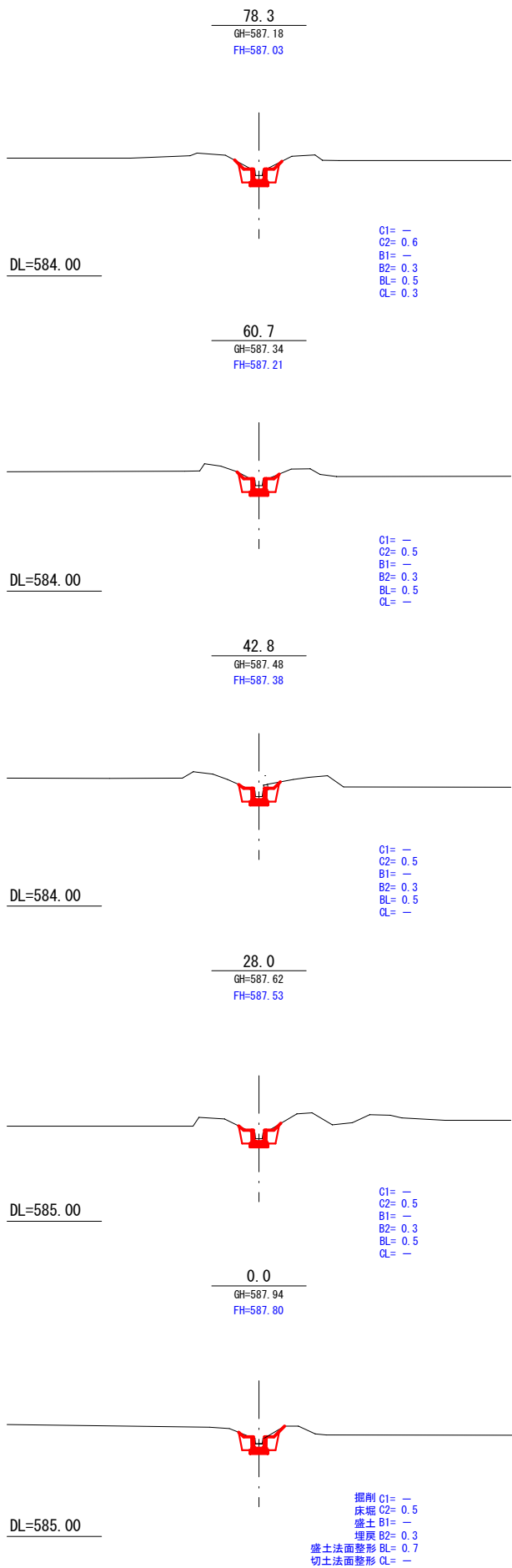


勾配												
盛土												
切土	0.13 0.18	0.20	0.21	0.20	0.19	0.21	0.19	0.19	0.21	0.24		
計画水路高	585.06 585.01	584.72	584.42	584.20	583.79	583.67	583.51	583.44	583.30	583.25		
現況水路高	585.19	584.92	584.63	584.40 583.74	583.79 583.98	583.88	583.70	583.63	583.51	583.49 582.97		
追加距離	275.10	299.70	324.30	342.90 343.60	352.30 353.30	385.90	432.50	450.50	490.60	504.00 504.16		
単距離	9.90	24.60	24.60	18.60 0.70	8.70 1.00	32.60	46.60	18.00	40.10	13.40 0.16		
測点	275.1	299.7	324.3	342.9 343.6	352.3 353.3	385.9	432.5	450.5	490.6	504.0 504.16水端處		
既設構造物												

事業名	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	三郷及木地区		
図面名称	縦断面図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 5
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
免注主体	安曇野市(耕地利務課)		
施工			

横断面图 1

S=1:100

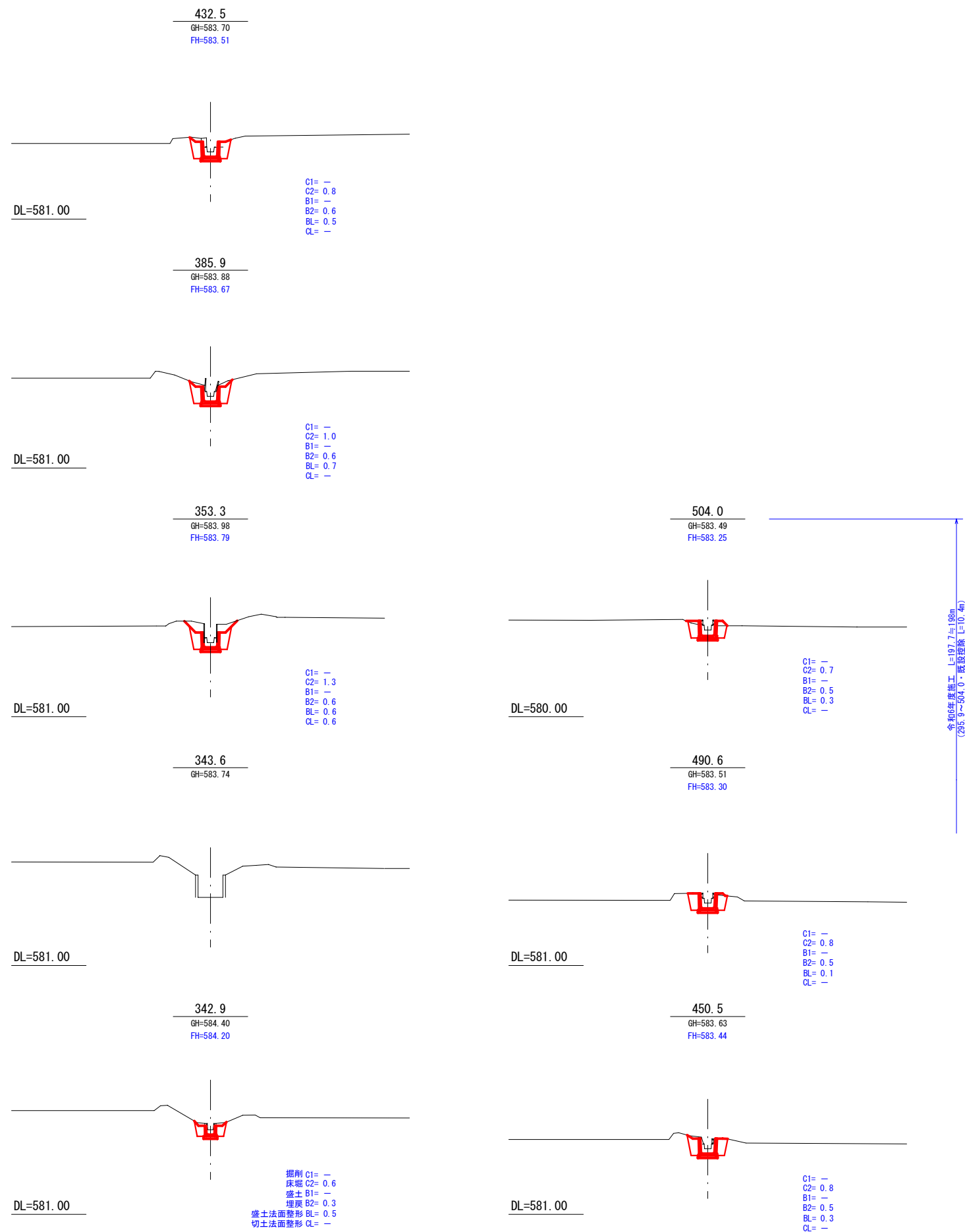


令和6年度施工 L=197.7≒198m
(295.9-504.0・既設道路 L=0.4m)

事業名	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業			
地区名	三 郷 及 木 地 区			
図面名称	横 断 面 図 1			
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 5	
作成年月日	令和 年 月			
測 量	長野県土地改良事業団体連合会			
設 計	長野県土地改良事業団体連合会			
発注主体	安曇野市(耕地林務課)			
施 工				

横断面図 2

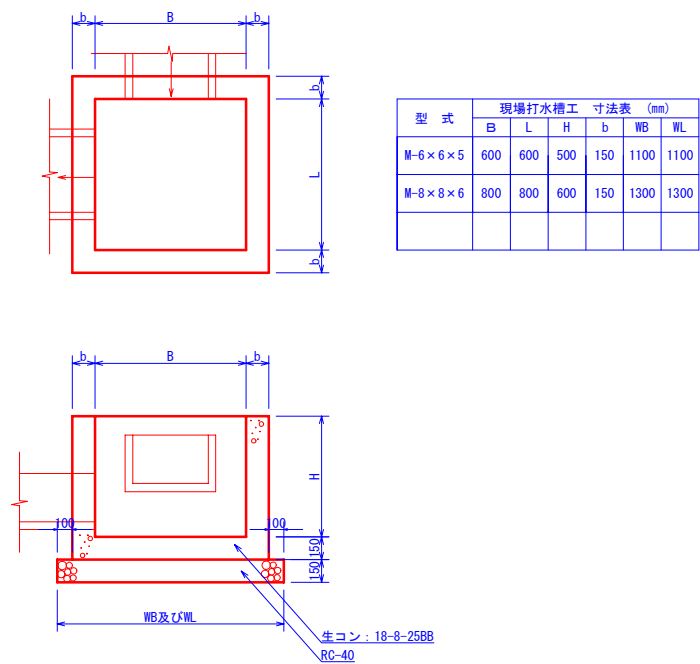
S=1 : 100



事 業 名	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地 区 名	三 郷 及 木 地 区		
図面名称	横 断 面 図 2		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 5
作成年月日	令和 年 月		
測 量	長野県土地改良事業団体連合会		
設 計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地利務課)		
施 工			

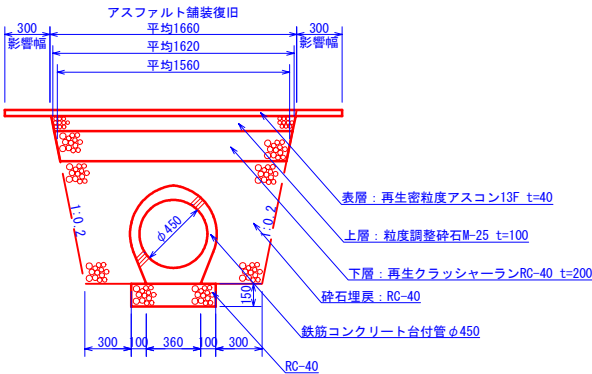
現場打水槽工

S=1 : 25



鉄筋コンクリート台付管

S=1 : 25

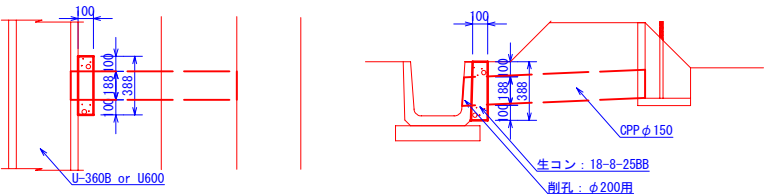


田排水接続工

U字溝用 S=1 : 25

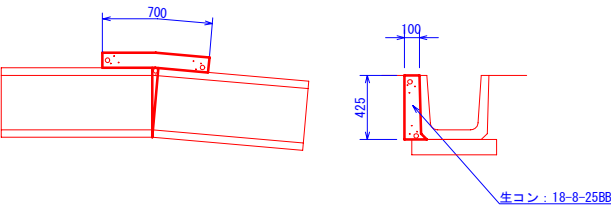
平面図

断面図



U字溝補強工

360B型 S=1 : 25



事業名	令和6年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	三 郷 及 木 地 区		
図面名称	各 種 構 造 図		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5
作成年月日	令和 年 月		
測 量	長野県土地改良事業団体連合会		
設 計	長野県土地改良事業団体連合会		
免注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施 工			